



高鷲小学校 学校だより

2019年11月号

夢に向かい 共に創る子

すすんで学習

思いやりの行動

あいさつ・言葉づかい

朝読書

校長 野々田 光則

♪「朝の空を見上げて 今日という一日が 笑顔でいられるように そっとお願いした」♪…

朝、8時5分から「365日の紙飛行機」(日によって曲は変わりますが…)のメロディーが流れると、子どもたちは、一斉に朝読書の準備を始めます。このメロディーが流れる前からすでに本を読み始めている子もいます。

後期は、前期の反省をもとに朝読書を「毎日」行うことに決めました。後期の始業式でこのことを子どもたちに伝えた時は「やった!」という声も聞こえました。

読書の効果はメディアでも取り上げられていますが、学校で読書を大切にする理由は、

- ・子どもが読みたいという本との出会いをたくさんさせたい
- ・語彙を増やして想像力を高めたい
- ・子どもたちの思考力・判断力・表現力を高めたい

という願いからです。

小学校の国語の教材では、例えば3年国語「三年とうげ」で♪いっぺん転べば三年で、十ぺん転べば三十年、百ぺん転べば三百年…♪など言葉のリズムを楽しみ、6年生では、古典芸能「柿山伏」で独特な言葉の言い回しで“飛ぼうぞよ…”などに触れ楽しめます。このように、その触れた感覚をもとにしながら、他の本と出会うことは、日常とは違う世界をたくさん経験し、想像力を養うこともつながります。また、紙の本には手触り・紙のにおい・紙の質感もあり、読書体験とセットになって記憶に残るというよさもあるのではないのでしょうか。

さて、読書は、まずは好きと思える本から読みはじめることが長続きするコツなので、山下図書館司書が、子どもたちが「読みたい」と思う本を、「楽しい気持ち」で読めるように、図書館づくりを工夫しています。朝、校舎に流れるメロディーの中、その図書館に本を借りにくる子どもたちは、図書委員がテキパキと貸し出しの作業をしてくれると、急いで教室に戻り、本の世界に静かに入っていきます。どんな世界に入り込んでいくのでしょうか。朝、その世界をのぞいてみたくなる顔が教室に広がります。

「国立青少年教育振興機構調査研究報告書」より
子どもの頃に読書活動が多い成人ほど、「未来志向」、
「社会性」、「自己肯定」、「意欲・関心」、「文化的作法・
教養」、「市民性」のすべてにおいて、現在の意識・能力
が高い。(一部紹介)



11月 6年生も読み聞かせの本の世界に入り込んでいます

おもしろさを伝えるために

15日に3年生の国語の授業で全校研究会がありました。「2年生の子に読んでもらうために、三年とうげでおもしろいと思ったところを仲間と交流して、読書チケットを書こう」という課題です。まず、交流でお互いにおもしろさの感じ方に違いがあることに気づきました。出口では、自分なりに一番おもしろいと思ったところとその理由を熱心に書きました。同じ場所を選んでも、伝えたい相手のことを考えたり、その理由の感じ方に違いがあったりすることを学びました。



～各種コンクール受賞者のみなさんの紹介～

<歯の健康優良児>

おめでとうございます

優秀賞 6年 河合 秀虎 優良賞 6年 森 こと

<郡上市子ども書写展>

優良賞 3年 下條 絆吏

入選 1年 下條 朱唯 2年 蓑島 晴紀 4年 山下 萌 西杉山 紗愛

5年 鷺見 咲香 土屋 旬佑 荒川 瑛人 6年 清水 芽郁

<明日の青少年を育てる会 夏休み標語>

優秀賞 3年 森 あゆ 入選 5年 麥島 三桜

<郡上市図工展>

優秀賞 4年 日置 羽美 6年 日置 蘭

入選 1年 仲谷 柚乃 田中 そよ風 2年 杉山 力斗 3年 長谷部 眞子

3年 蓑島 虹花 5年 山下 美波 蓑島 圭透 荒川 瑛人

<お知らせ>

(株) スクラム様より5年生の原山小学校との交流会及び社会見学のバス代として、77,000円を寄付していただきました。ありがとうございました。

<12月の行事>

2日 特別6時間日課 プチ分団会	13日 トップアスリートバレーボール授業
3日 クラブ (最終)	(4, 5, 6年) ハロータイム
5日 授業参観 13:50~・学級懇談会	17日 読み聞かせ (低) 教育相談日
6日 ハロータイム ひびきあい集会	18日 分団会 ※図書館の本返却最終日
町民図書	19日 町民図書 児童集会
9日 特別6時間日課	20日 ハロータイム 大掃除
10日 委員会	24日 読み聞かせ (図書委員会)
11日 ハロータイム	25日 ハロータイム ベルマークの日
12日 PTA 執行委員会 19:00	26日 全校集会 (3時間授業) 11:20 下校
2年役副会長選出会 19:30~	27日 冬休み開始 (~1/7)